

第1回公共交通協議会（陸上分科会・自治会分科会合同）議事録

- 日 時 … 平成23年12月22日(木) 13:30~15:40
- 場 所 … 江田島市役所 本庁本館2階 第1・2会議室
- 出席者 … 交通事業者（バス・おれんじ号運行事業者）
江田島市自治会連合会（各町自治会正副会長等）
- 内 容
 - ・おれんじ号は、平日だけでなく土日も含めて毎日運行してもらいたい。土日だけ買い物に行きたいという住民もいる。そういう人たちにとっては利便性が悪く、公共交通になっていない。
 - ・沖地区から能美中学校へ行く生徒が7:30からの朝練に行かれない。その辺りも含めて、スクールバスの運行に際しては教育委員会へ時間帯の検討などをしてもらいたい。
 - ・路線バスを島から撤退させる方向に向いているようだが、絶対に過疎に拍車がかかる。路線バスは置いておかないと駄目。
 - ・秋月からトンネルを通過してゆめタウンへ買い物に行ける便を、もう少し使いやすくしてほしい。呉から小用へ帰る最終の船便にも秋月の人が10人くらいいる。乗る人の立場に立ってダイヤを考えてほしい。
 - ・公共交通というのは、今や社会福祉事業である。土曜日曜はかかせない。
 - ・電話をかけられない年配の方もいる。自治会の方へ遠慮せずに言ってくれ、私が代わりに電話をかけるから、というくらいやってくれたら一番良いと思う。
 - ・地域のスーパーが無くなるというのが、目の前にぶら下がっている。スーパー名の停留所、あるいは病院名の停留所、そういうものをチラシに加味してほしい。
 - ・限られた財政の中でデマンドの部分とバスの部分とを、とにかく一番合理的に連携していく。最終目的は市民の利便性だから、運行する側の都合だけではなく利用される側の都合でないと駄目。
 - ・公共交通協議会の第1回目の時に、バスを船に乗せて片道千円くらいで八丁堀まで行けば良いという話が出たが、素晴らしい発想だと思う。そのように柔らかい頭を持つというのは大事なこと。
 - ・タクシーで通院した際に、受益者も出すが、その半分でも1/3でも良いので市が補助したら良いのではないかと。旧能美町や旧大柿町時代にはやっていたこと。
 - ・江田島バスに対しての助成が減ったが、デマンドで市からこれだけ助成しなければならず、結果として市としての助成金額が変わらないのであれば、何の変革でも改革でもない。
 - ・一番問題は、改善しながら結果として江田島市の将来に対する市民の漠然とした不安がどんどん大きくなっていること。公共交通の問題は最たるもの。
 - ・タクシーを安く利用するために、5人10人集まって買い物に行こう、それなら割安になるし家まで来てくれる。将来的にはそういう方向になるのではないかと。
 - ・例えばデマンドの実証運行にしても、実証運行なら本格運行以上にPRして地元住民の理解を得なければ、あるもないもわからない状況の中で、利用者の数なんて絶対に増えない。